

新型コロナウイルスの検査用 試薬キットの捨て方について

新型コロナウイルスの感染流行に伴い、自宅でPCR検査、抗原検査および抗体検査ができる試薬キットが市販されています。使用済のキット（プラスチックが主材料で針のないもの）は町の収集日に出すことができますが、処分する際には次のようお願いします。

- 1 使用後はビニール袋で密封し、4日間保管してください。（物の表面についたウィルスは時間が経てば感染力がなくなります。ただし、付着した物の種類によって24時間から72時間くらい感染力を持つと言われています）
- 2 4日経過したら、町指定のごみ袋に入れて「その他のプラスチック」として収集日に出してください。

※針のあるキットを処分する際は、購入したお店、メーカーに相談してください。

☎生活衛生課 生活衛生班 ☎0820 (79) 1012

勇気と元気を。なむでん踊奉納

6月26日、「久賀のなむでん踊」の奉納が久屋寺で行われました。このたびは、新型コロナウイルスと戦うすべての人に勇気と元気を送りたいという願いも込めての奉納となりました。

県指定無形民俗文化財の「久賀のなむでん踊」は、江戸時代から続く虫送り行事で、昨年度には、保存会が、永年にわたり保存と継承に尽力してきた功績が認められ文部科学大臣表彰を受賞しています。



▲久賀のなむでん踊保存会による、なむでん踊の奉納

こんにちは、地域おこし協力隊（観光協会）の山田祥子です。

私は先日、宇部市の「楠こもれびの郷」で、地域資源や地域の人々、第一次産業を繋ぎ、伝える大切なパイプ役となるグリーン・ツーリズムインストラクター育成スクールを受講し、改めて周防大島というフィールドの可能性を実感する研修となりました。会場となった「万農塾」は、就農者を14人輩出し、地産地消の野菜を扱う直売所に、パン屋、古民家レストラン、また、温泉施設に農泊できる複合施設が揃う地域交流の役割を担っていました。

フィールドワークの授業では、体験指導リーダーを務めさせていただき、小麦と野菜を使った地産地消のフランス郷土料理ガレットを発案。カラフルな地元特産メニューに挑戦し、受講生の皆さんに楽しんでいただきました。

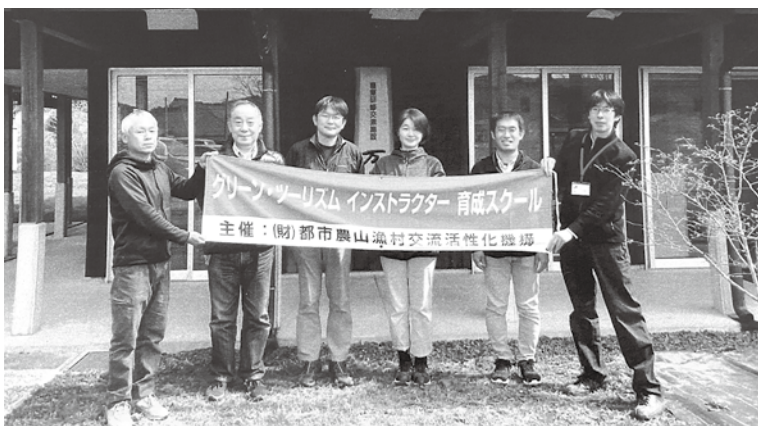
地域おこし協力隊員 山田祥子の

しましまタイムズ

SHIMASHIMA TIMES

28

周防大島観光協会
☎0820 (72) 2134



▲受講生の皆さんと。充実した研修となりました

今後の展開では、この研修で学んだことを周防大島ならではの遊びや体験に活かし、観光協会や旅行業者が企画するツアーのニーズに応えられるコンテンツ作りを励んでいきたいと思っています。また、昨年度、観光協会でも実施したモニターキャンプも活かし、通年で楽しめる周防大島の魅力を発信すると同時に、ツアー先としてこの島が目指されていることから、自らも案内人となるよう、これからも周防大島を学び、知識に磨きをかけていきたいと思っています。

【P6 ちよび塩クイズ答え： ③0.4g ①0.5g ②0.8g】
どれも大きじ1杯分の食塩量です。かける量によってさらに増えますのでかけ過ぎ注意です。